

授業科目	器楽アンサンブル				単位	1		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11337J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP5-2			
担当教員	山路 麻佳							
授業概要	様々な楽器の扱い方や奏法について学ぶとともに、子どもの実態に即した編曲の方法を学び、その楽曲を演奏したり互いに聴きあったりして器楽合奏への理解を深める。音楽の楽しさを、器楽の演奏という面から追求し、子どもたちに豊かな音楽体験ができるような環境を作り上げられる保育者を目指して学びを深める。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の現場で日常的に使われる楽器の扱いや奏法について理解できる。</li> <li>2. 子どもたちに理解しやすい方法で、自分の考えた音楽的構想を書き表す力をつけ、任意の楽器を用いてアンサンブルをすることができる。</li> <li>3. リズムやアレンジ方法への理解を深め、保育の現場での音楽の活用法や指導法を習得できる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	0	50	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				50	30	20	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
楽器の扱い方や奏法について理解し、楽器を用いた合奏をすることができる。正しいリズムでの演奏と、その指導ができるとともに、各種楽器を用いた編曲方法についても理解を深め、保育の現場で活用できる応用力を身につける。				楽器の扱い方や奏法について理解し、楽器を用いた合奏をすることができる。読譜力を向上させ、正しいリズムでの演奏と、その指導ができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要について説明し、授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。			講義 全体およびグループによる演習		復習:音名や音価等が理解できているか、1年次に使用した楽典の教科書を確認する。		30

2	テーマ:リズムと楽譜の読み方 楽譜の読み方について復習する。リズムの特徴を活かし、声や身体を使ったリズム遊び、アンサンブルを行う。	全体およびグループによる演習	復習:楽譜の読み方の基本について再確認する。	30
3	テーマ:打楽器の取り扱いと奏法 リズム楽器(体鳴楽器・膜鳴楽器)の取り扱いと奏法について理解する。	全体およびグループによる演習	復習:打楽器の奏法について復習する	60
4	テーマ:打楽器によるアンサンブルの実践1 楽譜から正しいリズムや奏法を読み取り、表現し発表する。	全体およびグループによる演習	復習:担当パートの読譜を進める。	60
5	テーマ:打楽器を使ったアンサンブルの実践2 楽曲に適した打楽器を考え選択し、リズムを創作・記譜する。	全体およびグループによる演習	復習:正しい記譜により楽譜を作成する。担当パートの読譜を進める。	60
6	テーマ:打楽器を使ったアンサンブルの実践3 創作した楽曲の表現を深め、演奏発表を行う。	全体およびグループによる演習	予習:発表のための練習・確認を行う。	60
7	テーマ:鍵盤楽器の取り扱いと奏法 鍵盤楽器の取り扱いと奏法について理解する。	全体およびグループによる演習	復習:鍵盤楽器の奏法について復習する。	60
8	テーマ:鍵盤楽器を使ったアンサンブルの実践1 グループに分かれ、楽曲を選択しアンサンブルを深める。	全体およびグループによる演習	復習:担当パートの読譜・練習を進める。	60
9	テーマ:鍵盤楽器を使ったアンサンブルの実践2 グループに分かれ、楽曲を選択しアンサンブルを深める。	全体およびグループによる演習	復習:担当パートの読譜・練習を進める。	60
10	テーマ:鍵盤楽器を使ったアンサンブルの実践3 グループごとに演奏発表を行う。	全体およびグループによる演習	予習:発表のための練習・確認を行う。	60
11	テーマ:鍵盤打楽器の取り扱いと奏法 鍵盤打楽器の取り扱いと奏法について理解する。	全体およびグループによる演習	復習:鍵盤打楽器の奏法について復習する。	60
12	テーマ:器楽合奏の創作と実践1 グループでテーマを設定し、合奏の編成、効果的な楽器の活用と表現を考える。	全体およびグループによる演習	復習:設定したテーマと合奏の関連について考える。	60
13	テーマ:器楽合奏の創作と実践2 発表に向けてグループで打ち合わせ、練習を進める。	全体およびグループによる演習	復習:正しい記譜により楽譜を作成する。担当パートの読譜を進める。	60
14	テーマ:器楽合奏の創作と実践3 発表に向けてグループで打ち合わせ、練習を進める。	全体およびグループによる演習	復習:正しい記譜により楽譜を作成する。担当パートの読譜を進める。	60
15	テーマ:器楽合奏のグループ発表 グループ発表を行い、授業の振り返りとまとめを行う。	全体およびグループによる演習	予習:グループ発表のための練習・確認を行う。	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1年次の音楽関連科目にて学んだ楽譜の読譜に関する基本的知識			
テキスト	指定なし(適宜プリントにて配布予定)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	音楽之友社『ボディパーカッション入門 体を使った新しいリズム表現』 音楽之友社『楽しいボディパーカッション』 全音楽譜出版社『打楽器教則本』 その他プリント(楽譜)を適宜配布する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	小編成のグループでの実践や発表を中心に進行する予定ですので、グループ内での各自の積極的な参加とチームワークを期待します。想像力豊かな創作体験を通して、発達段階に応じた音楽の楽しみ方や保育の現場での活用法について考えてみましょう。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	実践(課題曲)の内容やその他の評価基準等については別途、授業内において伝達します。			

